

2024年度 第2回常任理事会：議事録

日時：2024年6月1日（土）

14時00分～17時10分

場所：オンライン会議（Zoom会議）

出席者：田中真介（理事長）、来田宣幸（副理事長）、伊坂裕子、上瀬由美子、軽部幸浩、桐生正幸、小林剛史*、中井宏*、松田浩平、松本友一郎（以上、常任理事）

谷口淳一（第90回大会委員長）

事務局：軽部幸浩（事務局長）、時田学（幹事）

（*は欠席者：敬称略，五十音順）

[議題]

I 報告事項

1. 理事長挨拶（田中真介理事長）

・理事長より、常任理事会の開催について常任理事の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

2. 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会（松田浩平委員長）

・委員会の構成メンバーが報告された。

副委員長：軽部幸浩・佐藤恵美

委員：第1部門：（原理・認知・感情）

宮崎由樹・山本真菜

第2部門（教育・発達・人格）

薊理津子・松原詩緒・三保紀裕

第3部門（臨床・福祉・相談）

青木みのり・河野千佳・田中共子

第4部門（健康・看護・医療）

阿南あゆみ・木下由美子・小竹久実子・宮園真美・山中真

第5部門（犯罪・社会・文化）

入山茂・吉澤寛之

第6部門（産業・交通・災害）

篠原一光・関口和代・竹橋洋毅・塚本伸一

第7部門（スポーツ・生理）

石岡綾香・種ヶ嶋尚志

顧問：理事長（田中真介）・副理事長（来田宣幸）

（敬称略）

・ベテランの先生と中堅の先生をバランスよく配置した。第5部門は補充の予定がある。第4部門は

実習の関係でメンバーは多めであると報告があった。

2) 企画委員会（桐生正幸委員長）

・委員会のメンバーが報告された。

副委員長：松本友一郎

委員：上市秀雄・小嶋理江・島田恭子

（敬称略）

・今年度の学会研修会は2題の予定であり、1題はAIと心理学の融合に関する研修、もう1つは未定と報告された。

・2024年度公開シンポジウムについては、島田委員が中心となって現代社会における女性のメンタルヘルスに関する内容について、秋以降に東洋大学にて開催する予定である。桐生委員長から2025年度は関西にて、2026年度は東北にて開催希望について報告があった。

・桐生委員長から応用心理士研修会の内容を中心とした、応用心理士向けの書籍作成の提案があった。

3) 学会活性・研究支援委員会（上瀬由美子委員長）

・委員会の構成メンバーが報告された。

副委員長：来田宣幸

なお、メンバーの増員予定である。

・委員会の活動は、前回の活動を踏襲する。

・若手会員研究については、9月の常任理事会で予定している初学者向けの投稿支援企画について報告する。

4) 国際交流委員会（松本友一郎委員長）

・委員会の構成メンバーが報告された。

副委員長：小林剛史

委員：谷口淳一・森泉慎吾・蓮花一己

（敬称略）

5) 学術推進委員会（伊坂裕子委員長）

・委員会の構成メンバーが報告された。

副委員長：中井宏

（敬称略）

①学会賞選考（伊坂裕子選考長）

・委員会の構成メンバーが報告された。

副選考長：中井宏

選考委員：柿本敏克・木村友昭・久保尚也・森泉慎吾

相談役：理事長（田中真介）・機関誌編集委員長

- (松田浩平)・事務局長(軽部幸浩)
(敬称略)
- ②優秀大会発表賞選考(中井宏選考長)
・委員会の構成メンバーが報告された。
選考長:中井宏
選考委員:伊坂裕子・柿本敏克・木村友昭・久保尚也・森泉慎吾
(敬称略)
- ③齊藤勇記念出版賞選考(軽部幸浩選考長)
・2022年度の応募は2件あった。次回常任委員会までに予備審査を行うと報告があった。
- ④「応用心理士」認定審査(代読:軽部幸浩事務局長)
・審査長:小林剛史
副審査長:伊坂裕子
審査委員:上村佳世子・堀洋元
(敬称略)
- 6) ホームページ委員会(軽部幸浩委員長)
・委員会の構成メンバーが報告された。
副委員長:来田宣幸
(敬称略)
・様子を見ながら委員構成を考えると報告があった。
- 7) クロスロード委員会(来田宣幸委員長)
・委員会の構成メンバーが報告された。
副委員長:田中真介
委員:大門耕平・権野めぐみ・本原琴美
(敬称略)
- 8) 学会史編纂委員会(田中真介理事長)
・委員会の構成メンバーが報告された。
委員:藤田主一・古屋健・軽部幸浩
(敬称略)
- 9) 倫理委員会(来田宣幸副理事長)
・委員会の構成メンバー未定。
- 10) 社会連携委員会(田中真介理事長)
・学会横断型の連携・交流の役割を担う共通カテゴリーとして設定する予定であり、正式な委員会としての掲載については継続検討とすると報告なされた。
- ①日本心理学諸学会連合(田中真介理事長)
・田中理事長より、社員が報告された。
理事長(田中真介)・上瀬由美子
(敬称略)
・理事10名、監事2名の選挙結果の報告があった。
- ②心理学検定(代読:軽部幸浩事務局長)
・検定は年に2回CBTで行われている。
・第19回心理学検定の申込受付は、2024年7月12日~8月31日である。団体割引が20名から10名からとなり、団体の受験料振込はバウチャーで受験者個人の振込となる。
・心理学検定公式問題集2024年度版が発売されたということが報告された。
- ③日本応用心理学学会事務局(軽部幸浩事務局長)
・構成メンバーが報告された。
事務局長(軽部幸浩)、幹事(時田学)
・理事長より、日本学術会議など、多様な関連諸学会をつなぐ機関・団体・活動に参加する組織と報告があった。
3. 第90回大会について(谷口淳一大会委員長)
・進捗状況と締切日を延長することも考えている。
・大会特別講演は蓮花一己先生、大会企画シンポジウムは、帝塚山大学川口先生による日本酒に関するシンポジウムと野島一彦先生による奈良の小学校の心理教育に関するシンポジウムを企画していることが報告された。
4. その他
- 1) 会員異動について(軽部幸浩事務局長)
・2024年5月24日現在の会員数は、一般会員:(930名)、院生会員(62名)、学生会員(2名)、名誉会員(29名)、終身会員(79名)、賛同会員(2名)の合計1,096名で、前回報告の2024年3月25日時点より27名減少であったと報告された。
- 2) 理事長挨拶について(軽部幸浩事務局長)
・理事長挨拶についての文章を簡潔にしてほしいという希望が出され、田中理事長がその意向を受けてA4用紙2枚に収めてくれることとなった。
- 3) 理事アンケートの結果について(来田宣幸副理事長)
・理事アンケートの集計結果について報告があった。
- II 審議事項
1. 2023年度決算書(案)に関する件(軽部幸浩事務局長)
・2023年度決算書(案)について説明があった。
支出の部の「選挙関連費」が決済額0円であるのは、選挙用積立金より支出したためである。審議の結果、承認された。

2. 2024年度予算書(案)に関する件(軽部幸浩事務局長)
 - ・2024年度予算書(案)について説明があった。上瀬学会活性・研究支援委員会委員長より、委員会活動費の増額を希望され30,000円から100,000円に増額することになった。審議の結果、承認された。
3. 委員会活動費の取り扱いと予算に関する件(軽部幸浩事務局長)
 - ・委員会活動費を各委員会委員長へ送金する方法について承認された。
4. 各種委員会規程の改訂に関する件(来田宣幸副委員長)
 - ・新しく設置された学術推進委員会、社会連携委員会については、田中理事長と来田副理事長が検討することになり継続審議となった。
 - ・学術推進委員会の学会賞選考と優秀大会発表賞選考については、学術推進委員会に属しているものの従来通りの方法で柔軟に対応してほしいと田中理事長から指示があり、伊坂学術推進委員会委員長が了承した。
5. その他
 - 1) インボイスについて
 - ・インボイス制度への対応のため、情報収集をすることとなった。

※次回の2024年度第3回常任理事会はオンライン会議にて開催予定とし、日程は未定である。

以上

2024年度 第3回常任理事会：議事録

日時：2024年8月10日(土)

19時00分～21時20分

場所：オンライン会議 (Zoom 会議)

出席者：田中真介(理事長)、来田宣幸(副理事長)、伊坂裕子、上瀬由美子、軽部幸浩、桐生正幸、小林剛史、中井宏、松田浩平、松本友一郎

(以上、常任理事)

谷口淳一(第90回大会委員長)

事務局：軽部幸浩(事務局長)、時田学(幹事)

(敬称略、五十音順)

[議題]

I 報告事項

1. 理事長挨拶(田中真介理事長)
 - ・理事長より、常任理事会の開催について常任理事の先生方へ感謝の言葉が述べられた。
2. 各委員会報告
 - 1) 機関誌編集委員会(松田浩平委員長)
 - ・『応用心理学研究』の出版状況と投稿論文の審査状況が報告された。
 - 2) 企画委員会(桐生正幸委員長)
 - ・2023年度の活動が報告された。
 - ・2024年度応用心理士研修会(2024年度第90回大会帝塚山大学)は以下の通り報告があった。
 - 「乳幼児期の発達の魅力をとらえた保育・子育て～子どもたちの「言葉にならない言葉」を受けとめる～」田中真介先生(京都大学国際高等教育院)
 - 「AI技術と心理学による融合：心理学の社会実装を目指して」紺野剛史先生(富士通(株)コンバーテックテクノロジー研究所プロジェクトディレクター)
 - ・公開シンポジウムは、秋以降に東洋大学にて開催予定、テーマは現代社会における女性のメンタルヘルスに関する内容とし、仕事、家庭、健康など幅広い視点から話題提供が可能なシンポジストを検討中である。
 - 3) 学会活性・研究支援委員会(上瀬由美子委員長)
 - ・「若手会員研究奨励賞」の告知のため、大会会場付近辺に「チラシ」を置くことと学会HPで公開することの報告があった。
 - 4) 国際交流委員会(松本友一郎委員長)
 - ・ICAP2026の参加費助成と英文特集号のスケジュール原案を大会終了後に作成する予定であると報告があった。
 - 5) 学術推進委員会(伊坂裕子委員長)
 - ①学会賞選考部門(伊坂裕子常任理事)
 - ・学会賞選考結果について審議の依頼があった。
 - ②優秀大会発表賞部門(中井宏常任理事)
 - ・今回の優秀大会発表賞の投票形式は、記名式のWeb投票で行うことが報告された。
 - ③齊藤勇記念出版賞部門(軽部幸浩常任理事)
 - ・齊藤勇記念出版賞選考結果について審議の依頼があった。
 - ④「応用心理士」認定審査部門(小林剛史常任理事)

- ・2024 年前期は 2 名の申請があり、2 名とも認定可能であると報告された。
- 6) ホームページ委員会 (軽部幸浩委員長)
 - ・ホスティングサーバーの利用料金が 2024 年 10 月 1 日より値上がりになることが報告された。
- 7) クロスロード委員会 (来田宣幸委員長)
 - ・発行の作業を進めていると報告があった。
- 8) 学会史編纂委員会 (田中真介理事長)
 - ・歴史資料の蓄積、名誉会員のインタビューの公開、100 年史の準備を進めていると報告があった。
- 9) 倫理委員会 (来田宣幸副理事長)
 - ・特になし。
- 10) 社会連携委員会 (田中真介理事長)
 - ①日本心理学諸学会連合 (田中真介理事長)
 - ・特になし。
 - ②心理学検定 (小林剛史常任運営委員)
 - ・第 19 回心理学検定は申込締切が 8 月 27 日、試験期間が 8 月 31 日までであると報告があった。
 - ・2025 年春季試験 (第 20 回心理学検定) 期間は、2025 年 2 月 14 日～3 月 31 日であり、受験予約開始は 2024 年 12 月 17 日から、割引受験チケット・団体申込期間は 2024 年 12 月 10 日～2025 年 1 月 31 日であると報告があった。なお、団体受験は、従来の 20 名から 10 名に変更になり、多くの団体で申請が可能となることが予想されると報告があった。
- 3. 第 90 回大会について (谷口淳一大会委員長)
 - ・大会プログラムは大会ホームページにて公開されていると報告があった。
- 4. 会員異動について (軽部幸浩事務局長)
 - ・2024 年 8 月 5 日現在の会員数は、一般会員 (949 名)、院生会員 (74 名)、学生会員 (2 名)、名誉会員 (29 名)、終身会員 (79 名)、賛同会員 (2 名) の合計 1,135 名で、前回報告の 2024 年 3 月 25 日時点より 39 名増加であったと報告された。
- 5. その他
 - ・特になし。

II 審議事項

1. 学会賞選考に関する件 (伊坂裕子常任理事)
 - ・学会賞について優秀論文賞 (対象論文 9 本, ノミネート 7 本), 奨励論文賞 (対象論文 11 本, ノミネート 8 本) について第 1 次審査の結果が説明さ

- れ、優秀論文賞 1 本、奨励論文賞 1 本の推薦が決定されたことが報告され、いずれも承認された。
- 2. 齊藤勇記念出版賞選考に関する件 (軽部幸浩常任理事)
 - ・2023 年度齊藤勇記念出版賞の受賞候補者について説明がなされ、承認された。
- 3. 名誉会員の推挙に関する件 (軽部幸浩事務局長)
 - ・理事会、総会にて開陳する 5 名の名誉会員推挙者資料が説明され、いずれも承認された。
- 4. 2025 年度第 92 回大会 (大会当番機関) に関する件 (田中真介理事長)
 - ・2026 年度第 92 回大会について、理事長より大会委員長として多久島寛孝氏 (熊本保健科学大学) が推薦され、承認された。
- 5. 2024 年度理事会の議題に関する件 (軽部幸浩事務局長)
 - ・理事会次第 (案) が説明され、承認された。
- 6. 2024 年度総会の議題に関する件 (軽部幸浩事務局長)
 - ・総会次第 (案) が説明され、承認された。
- 7. その他
 - ・特になし。

※次回の 2024 年度第 4 回常任理事会は帝塚山大学にて、11:45 から対面にて開催予定である。

以上

2024 年度 臨時常任理事会：議事録

日 時：2024 年 8 月 23 日 (金)

18 時 30 分～19 時 50 分

場 所：オンライン会議 (Zoom 会議)

出席者：田中真介 (理事長), 来田宣幸* (副理事長), 伊坂裕子*, 上瀬由美子, 軽部幸浩, 桐生正幸*, 小林剛史, 中井宏, 松田浩平, 松本友一郎

(以上, 常任理事)

谷口淳一 (第 90 回大会委員長)

事務局：軽部幸浩 (事務局長), 時田学 (幹事)

(*欠席者, 敬称略, 五十音順)

[議題]

I 審議事項

1. 台風 10 号の対応に関する件 (田中真介理事長)

- ・審議の結果、第90回大会は「全日程中止」とすることで承認された。
- ・ポスター発表の代替措置については、大会委員会と相談し検討することとなった。
- ・総会はメール審議で行うこととなった。

以上

2024年度 理事会：議事録

日 時：2024年8月26日（月）

14時00分～17時05分

場 所：オンライン会議（Zoom会議）

出席者：田中真介（理事長）、来田宣幸（副理事長）、伊坂裕子、伊藤令枝、臼井伸之介、柿本敏克、加藤聡一、上瀬由美子*、亀岡聖朗、軽部幸浩、北川公路、木村友昭、桐生正幸、九島紀子、久保尚也、河野千佳、小竹久実子、小林剛史、佐々木史之*、高石光一、多久島寛孝、田中堅一郎、谷口淳一、種ヶ嶋尚志、田村英恵*、塚本伸一、時田学、中井宏、永田陽子、深見将志*、古屋健*、堀洋元、松田浩平、松本友一郎、森泉慎吾、八木善彦*、蓮花一己、和田万紀（以上、理事）
九島紀子、深見将志（以上、監事）

事務局：軽部幸浩（事務局長）、時田学（以上、幹事）

オブザーバー：角山剛、大坊郁夫、藤田主一、山本勝則（以上、名誉会員）

（*は欠席者：敬称略，五十音順）

I 理事長挨拶（田中真介理事長）

- ・対面大会中止の経緯と第8期運営体制の運営方針の説明があった。

II 第90回大会委員長挨拶（谷口淳一大会委員長）

- ・対面大会中止による事務処理や代替措置については、早急に対処したいと説明があった。

III 報告事項

1. 事業報告

(1) 会員の異動および会費納入状況（軽部幸浩事務局長）

- ・2023年8月20日現在の会員数は、一般会員（947

名）、院生会員（74名）、学生会員（3名）、名誉会員（29名）、終身会員（77名）、賛同会員（2名）の合計1,132名で2023年度に対する会員増加は14名であった。

- ・2024年度の会費納入率は、75.1%であった。

(2) 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会（松田浩平委員長）

- ・委員会の構成員が報告された。
- ・50巻第1号を8月上旬に出版した。掲載内容は、原著論文1本、資料論文2本、実践報告論文1本、短報論文2本と公開シンポジウムと平野馨先生の追悼文であった。
- ・機関誌編集の方針ならびに基本的姿勢について報告があった。

2) 企画委員会（桐生正幸委員長）

- ・委員会の構成員が報告された。
- ・第89回大会学会研修会について報告された。
- ・今回中止になった第90回大会学会研修会は、オンデマンドで配信することを検討していると報告があった。
- ・2024年度の公開シンポジウムを2024年秋に開催する予定であると報告された。

3) 学会活性・研究支援委員会（来田宣幸副委員長）

- ・委員会の構成員が報告された。
- ・学会活性・研究支援委員会の検討課題と新たな提案が報告された。

4) 国際交流委員会（松本友一郎委員長）

- ・委員会の構成員が報告された。
- ・国際応用心理学会（ICAP2026）に向けて資料を集めている。

5) 学術推進委員会

①学会賞選考（伊坂裕子常任理事）

- ・委員会の構成員が報告された。
- ・2024年度学会賞（優秀論文賞、奨励論文賞）について報告された。
- ・優秀論文賞は、山口茉優氏（養育者による子どもの顔認知ポジティブバイアス）、奨励論文賞は、小川邦治氏（組織の健康と心理的安全性がストレス反応と職務満足感に与える影響の検討）が選考された。

②優秀大会発表賞選考（中井宏常任理事）

- ・2023年度優秀大会発表賞について報告された。

③齊藤勇記念出版賞選考（軽部幸浩常任理事）

- ・委員会の構成員が報告された。
 - ・小林敦子氏著『職場で使えるジェンダー・ハラスメント対策ブック—アンコンシャス・バイアスに斬り込む戦略的研修プログラム』(現代書館, 2023年6月10日発行)が選考された。
- ④「応用心理士」認定審査(小林剛史常任理事)
- ・委員会の構成員が報告された。
 - ・2024年度前期の申請者は2名であり、全員が認定された。
- 6) ホームページ委員会(軽部幸浩委員長)
- ・委員会の構成員が報告された。
 - ・活動内容とレンタルサーバーの料金改訂が報告された。
- 7) クロスロード委員会(来田宣幸委員長)
- ・委員会の構成員が報告された。
 - ・活動内容が報告された。
- 8) 学会史編纂委員会(田中真介理事長)
- ・委員会の構成員が報告された。
 - ・活動内容が報告された。
- 9) 倫理委員会(来田宣幸副理事長)
- ・特になし。
- 10) 社会連携委員会
- ①日本心理学諸学会連合(田中真介理事長)
- ・日心連の新役員が報告された。
- ②心理学検定(小林剛史検定局常任運営委員)
- ・第18回心理学検定の結果概要と第19回心理学検定について報告された。
2. 理事・監事選挙について(軽部幸浩事務局長)
- ・2023年10月~2024年3月にかけて実施された第8期役員選挙の結果について報告がされた。
3. 終身会員について(軽部幸浩常任理事)
- ・2024年度は8名の申請があった。
4. 日本臨床心理士資格認定協会承認学術団体の申請承認について(軽部幸浩事務局長)
- ・令和5年4月1日から公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会より承認学術団体(関連学会)として承認されたと報告された。
5. その他
- ・特になし。
- IV 審議事項
- 第1号議案 2023年度決算に関する件(軽部幸浩事務局長)
- ・2023年度支出の部【事業費】において、選挙関連費の決算額が「0」となっている件について確認がなされ、これまで選挙関連費は本会計に計上されていたが、これからは別途会計で支出することが報告された。
 - ・2023年度支出の部【事業費】において、若手研究奨励金の金額が「100,000」となっているが、今回若手会員奨励賞受賞者は2名のため「200,000」ではないかという質問があった。この「100,000」は2023年度若手会員研究奨励賞受賞者1名の費用であり、2024年度若手会員研究奨励賞受賞者2名の奨励金は、2024年度決算書に計上することが説明された。
 - ・監事より2023年度の収支計算書に関する監査結果が報告された。
 - ・2023年度決算書(案)が開示され、審議の結果、承認された。
- 第2号議案 2024年度予算(案)に関する件(軽部幸浩事務局長)
- ・予算削減の観点から、今回の選挙実施方法については、Webによるオンライン投票も検討してはどうかという意見があった。
 - ・2024年度予算(案)が開示され、審議の結果、承認された。
- 第3号議案 名誉会員の推挙(田中真介理事長)
- ・浮谷秀一氏、川本利恵子氏、松浦常夫氏、向井希宏氏、蓮花一己氏が推挙され、審議の結果、承認された。
- 第4号議案 2026年度第92回大会委員長(大会当番機関)の推薦(案)(田中真介理事長)
- ・2026年度第92回大会について、委員長に多久島寛孝氏(熊本保健科学大学)が推薦され、承認された。
 - ・多久島寛孝氏から大会開催についての挨拶があった。
- 第5号議案 その他
- ・特になし。
- V 2025年度第91回大会委員長挨拶(桐生正幸大会委員長)
- ・大会委員長の桐生正幸氏(東洋大学)から大会開催についての挨拶があった。
 - ・大会開催日は例年通りを考えているが未定、場所

は東洋大学白山キャンパスで開催することが報告された。

以上

2024年度 第4回常任理事会：議事録

日 時：2024年8月26日（月）

17時15分～18時10分

場 所：オンライン会議（Zoom会議）

常任理事：田中真介（理事長）、

来田宣幸（副理事長）、伊坂裕子、上瀬由美子*、

軽部幸浩、桐生正幸、小林剛史、中井宏、

松田浩平、松本友一郎

（以上、常任理事）

谷口淳一（第90回大会委員長）

事務局：軽部幸浩（事務局長）、時田学（事務局幹事）

（*欠席者、敬称略、五十音順）

I 報告事項

1. 理事長挨拶（田中真介理事長）

・理事長より、常任理事会の開催について常任理事の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

2. 委員会報告

1) 機関誌編集委員会（松田浩平委員長）

・特になし。

2) 企画委員会（桐生正幸委員長）

・特になし。

3) 学会活性・研究支援委員会（上瀬由美子委員長）

・特になし。

4) 国際交流委員会（松本友一郎委員長）

・特になし。

5) 学術推進委員会

①学会賞選考部門（伊坂裕子常任理事）

・特になし。

②優秀大会発表賞選考部門（中井宏常任理事）

・特になし。

③齊藤勇記念出版賞選考部門（軽部幸浩常任理事）

・特になし。

④応用心理士認定審査部門（小林剛史常任理事）

・特になし。

6) ホームページ委員会（軽部幸浩委員長）

・特になし。

7) クロスロード委員会（来田宣幸委員長）

・特になし。

8) 学会史編纂委員会（田中真介理事長）

・特になし。

9) 倫理委員会（来田宣幸副委員長）

・特になし。

10) 社会連携委員会

①日本心理学諸学会連合（田中真介理事長）

・特になし。

②心理学検定局（小林剛史検定局常任運営委員）

・特になし。

3. 第90回大会について（谷口淳一大会委員長）

・特になし。

4. 2025年度終身会員候補者について（軽部幸浩事務局長）

・令和7（2025）年3月31日時点で70歳になる終身会員候補者について報告があった。

5. その他

・特になし。

II 審議事項

その他

1. 第90回大会対面開催中止の代替措置について（田中真介理事長）

・次のことが説明され承認された。

・対面大会は中止とした。

・総会は、メール審議とする。会員全員にメールを送り、名誉会員等の審議を行う。メールの文面は、2021年に東北文教大学で使用した、古屋健前理事長が作成した文書を雛形として使用し田中理事長が作成することとなった。

・第90回帝塚山大学大会の優秀大会発表賞は、なしとする。

・第89回大会優秀発表賞受賞者の懇親会招待は、来年度に繰り越しとする。

・2023年の各賞の賞状は、8月末頃に郵送予定である。

2. 第90回大会対面開催中止の代替措置について（谷口淳一大会委員長）

・次のことが説明され承認された。

・大会参加の領収書はメールで送る。

・懇親会参加費は、返却しない。参加記念に作成した御猪口を送る予定である。

以上

会員異動

(2024年5月25日～2024年9月25日の異動)

入会者

井上 航人	井上 雄貴	内間 杏里
浦田 悠	大高 実奈	岡田 啓子
岡村 歩果	小川 博之	
オランダ ヤコボ		菅 知絵美
喜瀬 茂代	城戸 滋里	黄 瑤
齊藤 渉太	佐原 綾香	
ザン ソニア ユーフイ		下茂翔太郎
下條 朝也	白石 裕実	白樫 花奈
末吉加代子	澄岡 美羽	高橋 えり
武内 寛子	多胡叶奈美	鄧 娟
中山 雅斗	西 法子	二瓶 栄次
野田 智美	能渡 綾菜	花山 愛子
日高 舞子	藤本 和弘	外間 彩理
洞出 翼	松田晃二郎	松原 小夏
三栖阿紀子	百田 尚史	森 祐貴
森尾 博昭	山口 祐子	山田 瑤人
劉 文静		

(以上, 敬称略)

退会者 (希望退会)

窪田 知子	建本 純子	寅嶋 静香
松山 依子	矢口 一郎	

(以上, 敬称略)

謹弔

終身会員の松山依子氏 (1933年11月12日～2024年2月16日), 矢口一郎氏 (1931年6月1日～2024年5月) がご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。